

2 0 1 9 年 度

事 業 報 告 書

鎮 西 学 院 本 部

鎮 西 学 院 幼 稚 園

鎮 西 学 院 高 等 学 校

長 崎 ウ エ ス レ ヤ ン 大 学

学校法人 鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

学 院 本 部

鎮西学院 2019 年度事業報告

建学の精神・鎮西学院の目指す人間像

1881 年（明治 14）鎮西学院は、北アメリカメソジスト監督教会から派遣された宣教師 C.S.ロングによって、長崎市東山手に設立された。生徒 12 名と教師 4 名からスタートした学院は、今や幼稚園・高校・大学までを擁し、卒業生の総数が 1 万 5 千人を超える総合学園に発展した。137 年という長い期間には、原子爆弾による被爆を経験し、また災害にも遭遇した。しかし鎮西学院は常に望みと信仰を棄てず、神への信頼をおく者の強さを発揮して今日に至っている。

少子高齢化や国際化など、今、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、私学のあり方もその根本が問い直されている。しかしそのような状況にあっても、創立者 C.S.ロングの教えである *Be Christian Gentlemen!*（キリスト教精神をもった紳士たれ）という建学の精神は、創立 137 年を迎えた現在でも生きており、クリスチャン・マインドを持った教養人を育むことは、学院の創立意義でもある。将来とも変わることのない鎮西学院にとっての真理である。

川崎升元院長が提唱した「敬天愛人」のスクールモットーは、戦時下の学院を閉校の危機から救った。「敬天愛人」のスクールモットーは、鎮西学院に連なる多くの人々の基本的な生き方の姿勢であるといっても過言ではない。

事業の概要

(1) 2019 年度目標聖句

『その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。
父だけがご存じである。気をつけて、目を覚ましていなさい。
その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。』

マルコによる福音書 13 章 32 - 33 節

2019 年度は、鎮西学院全体の 5 ヶ年（2018 - 2022 年度）の中期計画の策定・実行 2 年目にあたり、理事会のガバナンスとリーダーシップの強化のもと、引き続き、幼稚園、高等学校、大学の各部門の連携と一体感の醸成に努めるとともに、歴史あるミッションスクールとして培ってきた国際交流・地域連携ネットワークを最大限に発揮し、未来の地域社会で、その担い手となる園児・生徒・学生たちの育成を目的とした特色ある教育研究事業を展開してきた。

(2)事業の概要

【概況】

2019年度は、学院の5か年の中期計画である経営改善計画（2018-2022年度）2年目にあたり、計画の根幹となる学生・生徒・園児募集において計画目標を上回る実績の達成でスタートを切ることができた。特に、大学においては念願の入学定員確保を達成することができた。

2020年度の改正私立学校法施行に伴い、大きく以下の3項目について、寄附行為及び寄附行為施行細則等、関係諸規程の改正を行い、改めて理事会のガバナンスの強化と社会的責任の共有を図った。

(1) 役員の職務及び責任の明確化等に関する規定の整備

役員の責任の明確化（・善管注意義務・損害賠償責任、・役員等に対する特別の利益供与禁止、・特別の利害関係を有する理事の議決権排除） 理事・理事会機能の実質化（・利益相反取引制限の対象拡大） 監事の理事に対する牽制機能の強化、 評議員会機能の実質化

(2) 情報公開の充実

(3) 中期的な計画の作成

働き方改革の初年度に当たり、就業規則の見直し、勤怠管理システムの導入をはじめ、教職員の健康管理に努めている。

12月には恒例となっている学院市民クリスマスコンサートを開催し、姜尚中学院長のクリスマスメッセージ、幼稚園・高校・大学はもちろん、地元中学校の吹奏楽部を招き、好評を博した。

また、学院の教職員の連帯を改めて図ることを目的として、これまで高等学校で実施してきた教職員家族クリスマス会を、学院家族クリスマス会として、学院全体の教職員により開催した。

幼稚園は、保育料の無償化に伴い、満3歳入園を希望する保護者の増加への対応強化等、地域社会の保育ニーズへの対応に努めており、教職員の外部研修への積極的参加、保護者会との連携強化に努めている。こうした取り組みの結果、「幼稚園評価」を実施したところ、保護者からの高評価の結果を得た。園バスのリニューアル、洋式トイレの設置、園庭の整備推進に努めた。

高等学校は、3年連続して入学定員を上回る生徒を確保し、3学年全体の生徒数は945人となった。男女とも進学とスポーツがいずれも華々しい成果を誇る文武両道の学校へと著しい成長を遂げている。特に2017年度に新設した普通科公務員コースが完成年度を迎え、目標を大きく上回る公務員合格数62名という成果を勝ち得ることができた。国公立進学コースも目標（国公立大学等30名合格うち旧帝大1名以上）を達成し、復調傾向となっている。また、2018年度に開設したグローバルイングリッシュコースにおいても、創立者ロング博士の母校である姉妹校テネシーウエスレヤン大学への短期留学、文部科学省主催のトビタテ留学Japanプログラムへの参加のほか、長崎ウエスレヤン大学との連携によるアジア地域での研修、各種スピーチコンテストへの参加等、多様なプログラムを展開している。留学生の安定的・積極的受け入れにも取り組んでいる。

大学は、前述の通り、入学定員の確保を達成し、収容定員充足率も70%を超え、経営改善計画の当初の目標を着実に達成することができた。また、日本語教育プログラム科目等履修生の10月入学生数も計画を上回った。新たにi+Landナガサキ（カトープレジャーグループ）との産学官連携・地域づくり協定が締結された。新たに大村サテライトキャンパスを開設し、インド協定大学との連携

による Post Graduate Master in Management プログラムとして 12 人の留学生を受け入れた。懸案であった大学名称の変更は、当初の計画より 1 年遅れの 2021 年度実施を決定し、学院 SD (8 月 20 日開催)での教職員間の意見交換を経て、2020 年 4 月に文部科学省に届出を行った。また、2020 年度より大学改革推進本部を置き、教学改革を更にスピード感を持って推進することとなった。

【鎮西学院 経営改善計画】

2017 年 11 月の文部科学省・学校法人運営調査の結果、2018 年度から 2022 年度の 5 カ年の新たな経営改善計画を策定し (2018 年 6 月理事会決定) 目標達成に向けた進捗管理に取り組むこととなった。

この経営改善計画の最終年度における財務上の数値目標は、次の通りである。

目標	経営判断指標：現状 D2	計画 3 年目 B0	最終年度 A3
目標	教育活動資金収支額の黒字化とその維持		
	現状	189 百万円	計画 3 年目以降 黒字化
目標	受入学生数：		
	大学の入学者数：計画 3 年目は定員の 90% (126 人) 以上		
	計画最終年度 95% (133 人) 以上を確保		
	大学の在籍学生数：計画 3 年目は収容定員の 80% (464 人) 以上、		
	計画最終年度は 95% 以上 (551 人) を確保		
	(系列校からの内部進学率 20% 以上、高校新卒者 100 人以上、留学生 40 人以上)		
	日本語教育プログラム留学生 2018 (H30) 以降每学期 50 人		

計画 2 年目にあたる 2019 年度の目標達成状況としては、上述したとおり、学生・生徒・園児募集において前年度を上回る結果となったため、前年度に引き続き教育活動資金収支差額が黒字化する結果となった。教学面においても監事による教学監査を実施し、学生インタビューを始め、大学の教学改革の進捗状況に関するチェック体制を強化した。

鎮西学院幼稚園

キリスト教保育を中心として子ども達を育む

「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10章 14節

この聖句のように、創立以来変わらない精神

～子どもは神様から預かった大切な存在～

として、一人ひとりを大切にした教育を行った。

教育（保育）の基本方針

幼児における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

～教育にあたり重視すること～

幼児の「主体的な活動」を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。

幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であるので、「遊び」を通して次の5領域 **健康 人間関係 環境 言葉 表現** のねらいが、総合的に達成されるようにする。

幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

- ・月案の活動計画を5領域に分け、偏った計画にならないよう意識した。
- ・特別支援児に関しては、個別の指導計画・支援計画の作成をはじめ、保護者・療育機関・諫早市の保健師さんとの連携を図り、共通理解をもって個人の発達を支えることができるよう努めた。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい資質・能力」を常に意識した教育活動の展開

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10項目)…H29(2017)年度告示新幼稚園教育要領

健康な心と身体 自立心 協同性

道徳性・規範意識(ルールを守ろうとする意識)の芽生え

社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり、生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚 ことばによる伝え合い 豊かな感性と表現

- ・2018年度から指導要録の記録用紙が年長児のみ変わり、この10の姿が記載されたものとなったことで、10項目への教員の意識がより高まった。

(1) 教学改革計画

10月より、保育料の無償化が始まった。

全園児保育料無料。(施設設備費、給食費、PTA会費、スクールバス代のみ徴収)

共働き家庭（申請をし認定を受けた家庭）について預かり保育料の無償化。

第3子、年収約360万円以下の家庭について、給食の副食費免除。

- このことにより、満3歳入園を希望する保護者が増加傾向にあり。

◆未就園児親子遊びのつどい（オープンキャンパスの一環）

- 内容の工夫と充実・教員を二人体制・土曜日に全教職員で対応した園開放
- プログラムのチラシ設置場所増
など、充実に努めたものの、担当の2人に任せることが多く、参加者も前年度より参加者が少なかった。反省を生かし、教員全員で内容検討や広報活動などに努める必要がある。

◆行事の充実と保護者会との連携推進

計画的実践 行事の充実

全ての行事の起案を早めに ~ 個人の力から組織の力へ ~

個人の力量には限界があるので、みんなのアイデアが出せるように時間的余裕を確保。教員一人ひとりが運営に関わることで喜びと連帯を得る。

- 組織の総合力で運営するためには起案を早めに出し、アイデアを出す。
- 起案日の期日をいれた年間計画表、月案・週案に起案日の記載があることで計画的に行事が実践でき、PDCAのサイクルがスムーズだった。

◆園だより・クラスだより・フォトレター・園長だよりを毎月発行する

◆預かり保育の充実

- 夏期休暇中に、「長崎ペンギン水族館」及び大村「野岳水辺の森公園」への遠足を実施。
熱中症対策から、野岳を県立美術館に変更。スタッフの方も大変協力的で楽しい時間を過ごすことが出来た。
- 子ども達の健康管理のため、おやつ後に健康チェック、検温を実施。
流行性の病気がはやる時期や、コロナ対策が必要になってからは、特に強化して行った。
- 預かり保育時の写真を掲示し、子ども達が安心して遊んでいる様子を保護者に伝える。
恒例となりつつあり、楽しみに見られる保護者も増えた。

◆ホームページ・SNSによる情報提供、広報活動の充実

毎日更新しているブログが大変好評で、よい広報活動となっている。

◆学校評価の推進

- 毎月の定例役員会にて情報交換をし、保護者からの意見を聞く。
- 園評価アンケートを実施し、今後の園のあり方に生かす。
「幼稚園評価」を初めて実施。全体的に高評価。ご意見の1つ1つを職員会議で検討した。前向きにとらえ今後生かしていきたい。温かい言葉も複数あった。

(2) 園児募集対策と園児数・学納金等計画

◆在園児の保護者への丁寧な対応

◆保育内容の充実

・キリスト教保育の充実

- ・毎日祈りをもってスタートさせ、「感謝」と「思いやり」の心を育むよう努めた。
- ・ひかりの会（保護者会）の総会時には、開会礼拝として副学院長に説教をしていただいた。
- ・ピースチャペルでの親子礼拝では、学院総宗教主事・鉄口先生、大学宗教主事・神田先生に説教をしていただき、保護者にもキリスト教保育に触れていただく機会を持つことが出来た。
- ・キリスト教保育（月刊誌）・新キリスト教保育指針・はぐくみ・ぬくもり（キリスト教保育連盟出版物）などをテキストとし、キリスト教保育の本質（基礎・基本）を学ぶ教員の園内研修を実施した。計画通りにいかないこともあったため、2020年度は、強化したい。
- ・最低、学期に1回は全教員が教会に行き、諫早教会での礼拝に出席した。

・年間計画 月案 週案

PLAN（計画）DO（実行）CHECK（評価）ACT（改善）

週案提出 ... 第2, 4火曜日 業務記録・運転日報の提出 ... 第1, 3火曜日

協議等の時間確保のため、毎日の終礼（連絡会）を有効に。

進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行う。

- ・計画的に行うことが出来た。

◆教職員研修の充実

- ・教員各々が夏休みを中心に、自分の希望する外部研修へ参加出来た。
- ・今後、経験年数や分掌に合わせた研修を意識し、計画的に参加するようにしていく。

◆学院全体を意識した活動の展開

- ・野球グラウンドが遊び場に出来なくなったが、大学のグラウンドや食堂前などに散歩や木の実拾いに出かけた。
- ・大学・社会福祉学科、絵本の読み聞かせを通じた交流。
- ・高校GEコースとの交流。英語の簡単な手遊び歌などを教えていただいた。

◆園長の絵本の読み語り・園長だよりの積極的アピール

◆高校生・大学生に対するの広報活動強化

◆満3歳児受け入れ強化

(3) 施設等整備計画

◆ ワゴン車タイプの園バス (園児 2 5 名) 新車購入

◆ 洋式トイレ設置

◆ 園庭整備の推進

- ・春休みに、全教員で園庭遊具のペンキ塗り実施。
- ・砂場の砂購入。
- ・園舎横の畑で夏野菜栽培を実施。園児は、園長と共に草取りや水やりを行った。

◆ 園舎老朽化への対応

- ・築 5 0 年の建物である (1 9 7 0 年 1 月 1 0 日落成式)
- ・経営改善計画の達成に向けた運営組織の見直しにおいて、幼稚園の今後について検討する専門部会ができたので、それを中心に改築に向け具体化していく。

(4) 危機管理

- ・子どもの生命、健康を預かっているとの使命感を持ち、学期ごとに全職員で安全点検する。
- ・園児の避難訓練を、年間を通して実施。(各学期 2 回、年 6 回実施。不審者、火災、地震)
- ・とくに不審者対策では、正門前の運行部にも協力をお願いしている。
- ・夜間、休日の防犯管理は警備会社に委託し、警備体制をとっている。
- ・不審者対策の道具『ネットランチャー』を設置している。(ネットランチャーとは、鉄砲方式で一瞬にネットが 3 ~ 4 m 飛び出し、身体に絡みつ়防犯対策機器。)
- ・さらに『さす股』及び『ガス噴射器』を設置している。
- ・各クラスに催涙スプレー設置。

加えて、コロナ感染予防対策を行った。

- ・市内の教育機関が休校中も、幼稚園は対象外との県からの通達を受け、感染予防に努めながら、平常通り開園していた。
 - ・学院内でのコロナ対策委員会にて、情報交換と共通理解。
 - ・卒園式、入園式は縮小し、短時間で行った。
(来賓、在園児の参加なし。対象児保護者人数制限、プログラムの短縮化、謝恩会中止
集合写真園児のみ後日実施など)
 - ・保護者へ、毎日、園児の健康チェックシート提出を依頼。(検温、体調チェック)
 - ・教職員の検温、出勤時の手指消毒。
 - ・全園児、全教職員 マスク着用。
 - ・全園児、全教職員 本人及び家族に風邪症状などある場合は欠席する。(出席停止扱い)
 - ・園内：消毒液噴霧、清掃の徹底、手洗い・うがい・手指消毒の励行強化、部屋の換気。
 - ・3密をさけた教育活動。
 - ・訪問者に手指消毒 (園入口に消毒液設置) 。
- (・ 4 月 23 日 ~ 5 月 8 日まで休園。預かり保育のみを行い、共働き家庭の子育て支援実施。)

鎮西学院高等学校

2019 年度鎮西学院高等学校事業報告

学院の教育目標	「品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成」
校訓	「敬天愛人」

1. 育てたい生徒像

品性高潔で、自導自治の力を有し、目に見えないものを見ることができるような生徒

2. 目指す教師像

品性高潔で、生徒一人一人を愛し、教育活動を通して人生を教えることができる教師

3. 教育の基本方針

Students First!

自分の面子や建前よりも生徒の思い優先し、本音で接しあえる関係を作る

Believe Your Students!

生徒の可能性を信じ、「どうせ...」「やっても...」などのネガティブな思想や発言禁止

We're Touching the Future!

常に生徒・家庭・鎮西・日本の未来を担っている自覚と責任を持つ

○入学者数推移

年度	2015	2016	2017	2018	2019
入学生徒数(全校生徒数)	260 (880)	263 (830)	314 (823)	334 (898)	320 (945)

- ・3年連続定員超で、2014年度以来の全校定員900名を突破した。
- ・奨学生の数が多いので、その数を削減していくことが課題である。
- ・しかし、奨学生増及び新学科(公務員・GE)の影響で、しっかりとした目標を持った生徒が増えている。
- ・面倒見の良い学校としての評価が高い。

4. 教育の4本柱

本校の教育には4つの大きな柱があり、それぞれの観点からまとめてみた。

幅広くて確かな進路保障(常に学校選びの第一ポイント)

本校の進路には大きく分けて国公立大学・公務員・就職という3本の柱があり、今年度は以下のようにそれぞれが目標を達成した。

1)(目標)国公立大学合格数30名以上(旧帝大1名含む)

国公立大学等30名合格、うち九州大学2名(18年度14名・旧帝大0)で目標達成

2)(目標)公務員合格数30名以上(一般職10名含む)

公務員合格数62名合格、一般職23名(18年度24名・一般職6名)で目標達成

3)(目標)就職率100%達成(9年連続)

目標達成

- ・どれか一項目に絞れば本校よりも成績を出している学校はあるが、これだけ多岐にわたって成績を出しているのは長崎県内でも本校だけである。
- ・特に公務員においては新設した公務員コースが完成年度を迎え、県内からの注目度も高かったが、期待以上の成果を出したといえる。
- ・国公立大学も昨年度の不調を脱し、久しぶりの九州大学2名合格を含めた30名突破は評価できる。

- ・私立大学でも本校のキリスト教学校同盟の強みを活かして、ICU・同志社・関西学院・明治学院・西南学院等の有名私立大学に多数合格した(ほとんどが一般進学コース生)のは大いに評価できる。

盛んな部活動

部活動の強化は私立学校においては学校活性化や学校の知名度及びイメージのアップに必要であるが、19年度は例年のない大きな成果をあげられた。

1) 運動部

- ・野球部が夏の甲子園予選準優勝し、大いに盛り上がった。3回の全校応援を実施し、高校のスローガンであった「鎮西愛」を深められた。

・高校総体

優勝 女子サッカー(9年連続9回目)・男子卓球(2年ぶり32回目)

準優勝 女子卓球・男子駅伝・女子柔道

ベスト4 男子サッカー・男子バレー・女子駅伝・女子バスケット

個人でも男子陸上花尾君が県高校駅伝1区で3年連続区間賞に輝き、高体連から特別表彰

・新人戦

優勝 女子サッカー・女子卓球・男子駅伝

準優勝 男子卓球・女子駅伝・女子柔道

ベスト4 男子バレー・女子バレー

2) 文化部

- ・吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで5年ぶりの九州大会出場権を勝ち取り、マーチングコンクールにおいては10年連続で九州大会に出場し5年連続の金賞を獲得した。

これだけの種目に亘って結果を残している学校は県内でも数校しかなく、注目を集めている。これらの部活動の躍進は、従来の指導者・選手の努力はもちろんのこと、19年度の卒業生からまず300名の募集定員を満たすために、奨学生の勧誘数を増加させ、数多くの力のある生徒が入学したことによる波及効果と言える。このことは20年度～22年度も同様であり、今後数年は同様以上の活躍が見込める。

グローバル化の推進

1) グローバルイングリッシュ(以下GE)コースの革新的取り組みの継続

GEコースも設置2年目となり、他校にない取り組みを続けた結果様々な成果が出てきている。

- ・2年生は7月～8月にかけて姉妹校テネシーウエスレヤン大学に2週間の短期留学を実施
本校のためだけの専用プログラムであり、創立者ロング先生の母校で学べた意義は深い。諫早の姉妹都市であるアセンズ市からも、活動に対して補助金を出していただくなどの援助を受けた。
- ・グローバルな視点を持つものが増え、多くの生徒が以下のような海外研修に参加した。
日本赤十字社のバヌアツ研修(全国で8名) / 同じくベトナム研修(九州で16名) /
ウエスレヤン大学タイ・カンボジアツアー / カナダアップルビーカレッジに1か月短期留学 /
文部科学省主催のトビタテ留学Japanでニュージーランドに3か月留学
- ・英語力の向上も顕著で、長崎純心大学のスピーチコンテストで最優秀賞を獲得したのを始め、活水女子大学のプレゼンテーションコンテストの12名の最終選考に残り参加した者や、県教育委員会主催のスピーチコンテストに参加したりした。

- ・英検においても大学中級程度とされる準1級の1次試験に3名が合格し、うち2名は2次試験も見事に突破し、高校2年生で準1級を取得するという快挙を成し遂げた。2年生は留学中で受験できなかった生徒を除き、全員が2級以上を所持している。
 - ・1年生は12月に昨年に引き続き姉妹校である上海の華東師範大学附属バイリンガルハイスクールに2週間の短期留学を実施
 - ・英検でも高校卒業程度と言われる2級に既に5名が合格している。
- 2) 留学生の安定的受け入れ(年間15名程度)
- ・今年度は21名でスタートして、1名が都合により夏休み明けに帰国したが、0年生(入学前日本語研修生)として10月以降に12名を受け入れ、最終的に32名の体制となった。
 - ・19年度まではIHパートナーズ社と委託契約していたが、契約満了に当たり「未創社」と新たに契約し、中国人留学生寮の運営や課題になっている日本語指導にさらに力を入れていっている。
- 3) 海外の高校・訪問団との交流促進
- ・海外からの学校訪問は積極的に受け入れており、19年度は4月に中国、5月にタイ・ドイツ、7月に中国、11月にロータリークラブの米山記念奨学生のアジア各国の交換留学生たちとの交流会を実施
 - ・特に、7月に来校した姉妹校である上海華東師範大学附属バイリンガルスクールは、1週間滞在し、校内スポーツ大会にも参加した。
 - ・2月にはカナダの姉妹校アップルビーカレッジから2名の交換留学生が来校したが、コロナウイルスの影響で休校となったために、1週間予定を早めて帰国せざるを得なかったのは残念であった。
- 4) 海外研修への参加
- ・19年度は、前述のGEコース以外の生徒たちも夏休みを中心に数多くの生徒たちが海外研修に応募して選抜され、参加した。主な研修は以下の通り。
 県教育委員会主催のシンガポール研修(2年国公進) / 大村市主催のポルトガル研修(1年GE) / 文化交流協会主催の韓国(3年一般進)
 - ・中でも内山君(2年国公進)は高校生平和大使の中心的人物として活動し、パチカンでローマ教皇に謁見する等の活躍を見せ、メディアでも大きく取り上げられた。その意識・受け答え等大変立派だった。
- 5) ウェスレヤン大学との連携強化
- GEコース生によるグローバルカフェやイングリッシュブートキャンプなどを実施し、大学の教員や学生たちとの交流の時を持った。
- 6) 海外修学旅行
- 毎年3月に実施していたオーストラリア or 台湾の修学旅行は、コロナウイルスの影響により行先を国内に変更して実施予定であったが、最終的には実施不可能と判断し中止とした。この学年の生徒たちにはコロナ収束後に何らかの代替りの催しを実施してあげられればと考えている。

キリスト教教育

- 1) 日々の礼拝・修養会・特別礼拝などを通じ、信仰心と愛校心を涵養することができた。
- 2) 宗教的行事を通して培われる精神的な素養は「品性」をキーワードとしたきちんとした生徒指導と密接に結びついていて、生徒指導の対象となるような事例は学期ごとに1件あるかどうかである。
- 3) 様々な場面で生徒たちから「鎮西生としての自覚」とか、「立派な鎮西生になる」などの発言を聞くことが多くなり、生徒たちも愛校心や誇りをもって学校生活を送っていることが分かる。
- 4) キリスト教への理解も深まり、送辞・答辞を始め、種々の挨拶の中にも聖書を引用する者が多い。

5) キリスト教教育は学院の根幹であり、学科やコース・部活動や人種を超えて学校を一つに貫くものとなっている。

5. 教育力のアップと教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

教育力のアップ

- 1) 各教科年に一度以上の研究授業を実施して、教育力のアップに努めた。特に ICT 機器を使った授業は全教職員の関心が高かった。
- 2) 3月の臨時休校時期を使って、各委員会の会議や ICT 機器に関する研修会を実施した。ほぼすべての教職員が積極的に参加していた。

教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

1) 働き方改革

- ・教職員の出勤の正確な把握を行うために X'sion(クロスオン)というアプリを利用した
- ・定期試験中午後を自由時間とするリフレッシュデーを設けた(事務職員は交代で)
- ・月曜日を原則ノー部活デーに設定・試験中土日の原則練習禁止
- ・常勤講師(若手)増で、副担・分掌・部活動・各種当番に入れて、一人一人の負担を軽減した
- ・会議等が勤務時間を超過した場合には、後日に早退免などを極力認めるように努めた
- ・20年度より完全週休2日制とすることを決定

2) 校長面談の実施

- ・教職員のストレス軽減のため、学校運営の参考意見を聞くためなどに11月に校長面談を実施した。
- ・要望や要請は全て聞き、実現可能なもの、重要度の高いものなどはすぐに取り入れるように心掛けた。

3) 活躍を認め合う、称えあう雰囲気醸成

- ・月曜朝会後に教員持ち回りで Weekly Speech を実施し、和やかな雰囲気の中で1週間を始められた。
- ・月1回のノンクリスチャンの先生によるチャペルでの講話を実施した。生徒たちは通常の礼拝時よりもよく聞いている。
- ・峯脇先生の教職員のメンタルヘルス維持に対しての功績を称え、教員表彰を実施した。

6. 問題点の解決に向けた取り組み等

予算の健全化(20年度実施予定分を含む)

- 1) 授業料・寮費のアップ(¥1,000/月)を決定し、5月のPTA総会で予告し実施
- 2) 修養会費用の自己負担増
- 3) ICT関係の実費徴収(20年度より実施)
- 4) 授業料一部無償化による奨学費の減少(B奨学生を増やしA奨学生も総数も徐々に減らしていく)
- 5) 時限変更により授業数を削減することで、非常勤講師関係出費を削減

商業科の特色付け

- 1) ICCとの連携を軸にPC関連に特化して強化
- 2) 20年度からは1クラス募集でレベルアップを図る

教室不足・寮の部屋不足(特に女子)

- 1) 宗教室を1G(13名)教室とすることで、何とか現高校校舎に全教室を入れられた
- 2) 女子寮は留学生をカブリ寮(大学寮)にお願いすることとした
- 3) 0年生の入学に伴い男子寮室が不足したため、女子側1階の合宿所の残りを寮室に改造

留学生寮の確保と運営体制の構築

- 1) 20年度が寮生超過(20名程度)となる見込みとなった
- 2) 中国人男子留学生のための栄田町平湯コーポレーション社員寮を借りることとした(第2ロング寮)
- 3) 日本人男子入学生の中から諫早市内の下宿(アベニュー城見)に4名入ってもらった

長崎ウエスレヤン大学

学校法人鎮西学院 長崎ウエスレヤン大学 2019 年度事業報告

1. 教学改革の進捗状況と産学官連携の推進

1) カリキュラム改革の進捗

学院内進学を増や大学名称変更、創立140周年に併せて学科コースの再編成に向け、学部・学科構成の見直し作業を開始し、2020年度大学改革推進本部に引継ぎ進めている。

社会福祉学科では、特別支援教育コースを2020年4月開設のための申請をおこない、認可がおりた。3年次編入促進ため長春大学(中国)と海外(日本)スタディプログラムを開発した。経済政策学科では、社会人の学び直し対応として6次産業化人材養成プログラムの開発をした。外国語学科では、JASSO 留学支援奨学金制度を活用し、海外留学を推進した。

本学の教育の特色であるコミュニティサービスラーニングの開設・受講状況は以下のとおりである。

【2019年度 コミュニティサービスラーニング・プログラム開設・受講状況】

	プログラム数	受講者数
2017年度	18	171
2018年度	15	198
2019年度	16	254

	プログラム名	受講者数
1	V・ファーレン長崎 応援とJリーグ活性化プログラム	29
2	Academic, Cultural International Events or Activities Support Program	29
3	食・音楽・観光による地域活性化	29
4	国際理解支援	19
5	子どもの支援プログラム	19
6	ウエ大プライド	19
7	福祉教育関連企画支援プロジェクト	19
8	長崎街道インフラ	19
9	長崎市・諫早市・九州地域における地域活動及びまちづくり体験学習	10
10	こどもの城プレイリーダー	10
11	ミライズ	10
12	福祉施設活動支援	10
13	よろず相談カフェ	10
14	地域づくりの学びと実践	10
15	キャンパス美化プログラム	8
16	基盤スペシャルサポーター	4

インターンシップ(旧カリキュラム)／CSLⅢ(長崎インターンシップ推進協議会)

	派遣人数
2017(H29)	7人
2018(H30)	8人
2019(R1)	6人

2) 全学的キャリア支援体制の成果

基盤教育「就職活動スキルⅠ～Ⅳ」のほか、就職合同説明会や専門職による個人面談、エントリーシート等の添削指導、面接試験対策等、全学的キャリア支援、卒業式後も指導している。しかし、2月以降新型コロナウイルス感染症の影響もあり2019年度の就職率は88.6%にとどまった。社会福祉士、精神保健福祉士国家試験合格率は、高水準を維持している。

【就職・進路実績】

● 就職率

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
全体	88.6%	87.2%	86.4%	87.5%
社会福祉学科	94.8%	86.4%	86.4%	87.5%
経済政策学科	89.5%	92.3%	95.0%	88.0%
外国語学科	82.3%	81.2%	76.5%	86.7%

就職者(2019年度) 47人 ※就職希望者 53人／卒業生 58人中

(内訳) 一般企業 33人 福祉関係 12人 公務 2人／県内 30人 県外 17人

- 主な就職先: (株)スズキ自販長崎、たちばな信用金庫、長崎ヤクルト(株)、(株)メモリード、長崎厚生福祉団、横尾病院、山鹿回生病院、長崎記念病院、佐賀県、西海市社会福祉協議会
- 進学先(大学・大学院): 福岡教育大学大学院

【資格取得支援】

- 福祉関係国家資格新卒者合格率 ※カッコ内は全国平均

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
社会福祉士	50.0% (29.3%)	64.3% (28.9%)	31.3% (30.2%)	37.5% (25.8%)
精神保健福祉士	100% (62.1%)	83.3% (62.7%)	100.0% (62.9%)	83.3% (62.0%)
W受験	80.0%	83.3%	83.3%	80.0%

2019年度 社福:6/12 精神:5/5 ダブル:4/5

- 情報処理関連資格(CS検定) 受験者・合格者(人)

	ワープロ2級			表計算2級		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2016年度 集計	3	3	100.0%	2	1	50.0%
2017年度 集計	5	1	20.0%	5	3	60.0%
2018年度 集計	27	11	40.7%	9	5	55.6%
2019年度 集計	12	3	25.0%	3	1	33.3%

- 英語教育

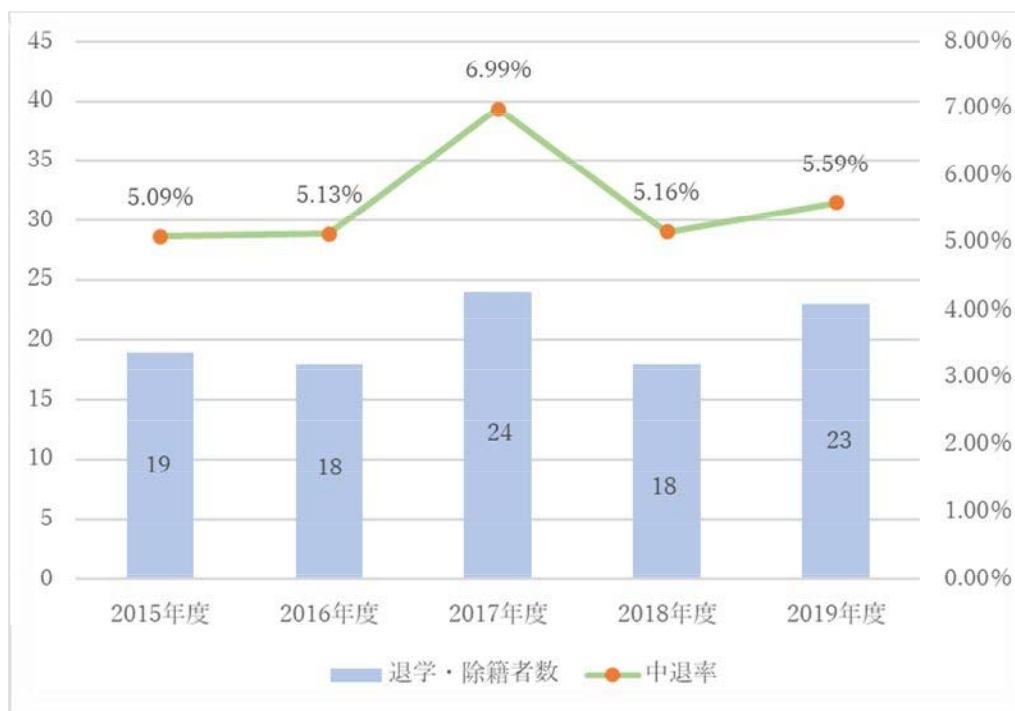
TOEIC

	受験者数(人)	最高スコア(点)
2016年度	42	935
2017年度	26	875
2018年度	35	805
2019年度	42	725

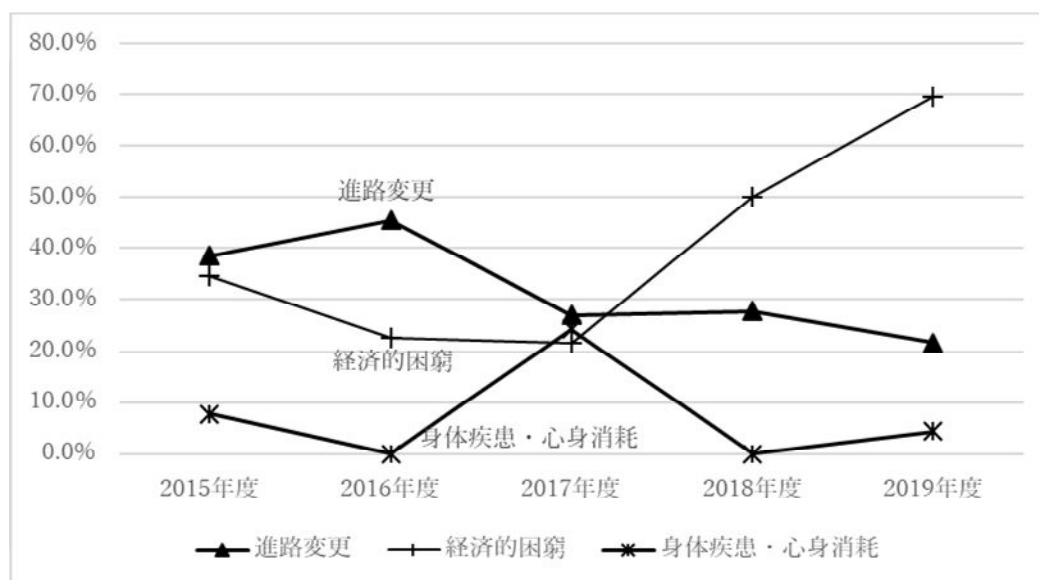
3) 中退予防

中退率 5%以下を目標として学科を中心に、キャンパスソーシャルワーカー、学生支援課、学生委員会との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと、中退予防に取り組んだが、退学・除籍による中退率は、前年度より微増した。退学・除籍の要因の年次推移を見ると、「進路変更」は減少し、「経済的事由」が前年度よりさらに上昇している。公的奨学金制度の広報・受給指導、後援会の奨学枠の拡大をお願いしながら、経済的支援をおこなっている。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



【退学・除籍要因の推移】



4) 地域連携・産学官連携への取り組み

地域連携に関しては、アイランド長崎との連携協定を締結し、取締役社長 田中正男氏を客員教授に迎え、PGMM授業で講義して頂いた。産学官企画連絡会議を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止になった。長崎県中小企業家同友会とは、県経営者フォーラムの分科会『次代の人財発掘と確保～令和世代がやってくる。これからの人材確保と戦略～』を本学が担当し、学生・教員が関わった。本学を核とする連携協定機関の相互連携を推進し、その成果も出てきている。

このほか、昨年に引き続き、諫早市教育委員会との連携により、諫早市内の中学生対象のイングリッシュキャンプ(メイフェスタと同日に開催)による英語教育に継続的に取り組んだ。

【2019年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
令和元年度イングリッシュキャンプ開催事業	諫早市	150 千円
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	—
計		150 千円

5) グローバル化への対応

引き続き、キャンパス内での国際交流、交換留学や海外CSPなどのプログラムへの学生の積極的参加・参画を促し、「国際的に有為な社会人」に必要なシティズンシップを養成する機会を多く設けた。

従来のタイ、フィリピン、カンボジアにおける海外CSP、中国・天津工業大学やマレーシア・ベルジャヤ大学スタディツアーに加え、アジア5地域(韓国・中国・台湾・マレーシア・日本)の大学間交流協定「AU+」の海外プログラムも開発している。また、JASSO(日本学生支援機構)の海外交換留学(派遣)の奨学金申請を行い、2019年度、2020年度共に470万ずつの計940万円の奨学枠を獲得した。

【海外プログラムの状況】

プログラム	参加人数(人)
カンボジア・タイST	2
マレーシア・ベルジャヤ大学インターンシッププログラム	3
中国・天津師範大学短期留学プログラム	10
計	15

2017年度より鎮西学院創立者の母校である米国テネシーウエスレヤン大学との交流が再スタートし、サマーコースの受入・招致に向け協議を開始したほか、現在、協定を締結している協定校に対してもサマーコースの案内を行っている。

従来の交換留学生15名、短期留学生7名を受入れた。

受入プログラム	参加人数(人)
交換招致	15
短期受入	7
日本語サマーコース	0

6) 大村サテライトキャンパス

インド協定大学との連携によるPost Graduate Master in Management プログラムを開設した。インドの大学を学生募集のために訪問し志願者を募ったが、経済的事由などで結果として12名の留学生を10月に受け入れスタートした。併せて、日本語プログラムの1クラスを実施している。

7) 九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム

昨年度に引き続き、長崎県・佐賀県の国公立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、私立大学改革総合支援事業「タイプ3 地域社会への貢献(プラットフォーム型)」に採択された。本学は、プラットフォーム事業において「地域・産学連携系ワーキング・グループ」責任校として、当該事業に積極的に参画している。しかし、2019年度に予定されていた幾つかの事業が、新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止になった。

2. 学生募集・広報活動の状況

1) 学生募集活動

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
在籍学生数	373 (60.2%)	351 (58.5%)	343 (59.1%)	349 (60.1%)	411 (70.8%)	475 (81.9%)
1年次入学者数	72 (51.4%)	88 (62.9%)	97 (69.3%)	120 (85.7%)	144 (102.8%)	136 (97%)
	内訳					
社会福祉学科	18 (36.0%)	21 (42.0%)	20 (40.0%)	23 (46%)	38 (76%)	26 (52%)
経済政策学科	16 (32.0%)	26 (52.0%)	41 (82.0%)	42 (84%)	48 (96%)	62 (124%)
外国語学科	38 (95.0%)	41 (102.5%)	36 (90.0%)	55 (137.5)	58 (145%)	48 (120%)

【入学者選抜】

① 出願者数および入学者数の状況

○全体の出願者数は163名と前年度を19名上回ることができた。また、経済政策学科、外国語学科の日本人の出願者および入学者はこの12年で最高であった。

学 科		社会福祉	経済政策	外国語	全体
定 員		50	50	40	140
日本人	出願者	41	84	38	163
	合格者	41	83	37	161
	入学者	26	58	19	103
留学生	入学者	0	4	24	28
入学者計		26	62	43	131

○いわゆる、進学校と呼ばれる高校からの受験・入学者が増えている。

(下表は入学者の出身校)

<p>【長崎】杵岐・杵岐商・諫早商・諫早定時・大崎・大村・大村工・川棚・口加・五島・五島南・ 佐世保北・佐世保工・佐世保商・佐世保西・佐世保南・西陵・対馬・長崎鶴洋・長崎西・長崎南・ 長崎明誠・鳴滝屋・鳴滝通・波佐見・猶興館・海星・活水・九州文化・クラーク国際・瓊浦・ 向陽・こころ未来・純心女子・聖母の騎士・聖和女子・総科大付属・創成館・鎮西学院・長崎玉成・ 長崎日大</p> <p>【神奈川】川崎市立幸【富山】富山国際大付属【三重】名張桔梗丘【福岡】朝倉東・伝習館</p> <p>【大分】昭和学園【佐賀】武雄・太良【沖縄】那覇・南風原</p>
--

●結果、収容定員の80%を確保でき、大学無償化における機関条件の一つをクリアできたことは大きい。

② 結果分析

○積極的な高校訪問(2018・・・488回、2019・・・531回)により、高校の校長先生や進路指導の先生と良好な関係を構築することが、本学教育への理解や信頼につながった。

○進学校からの受験・入学者数が増えたのは、本校の教育に対する一定の理解や信頼が得られたものとする。(青雲や佐世保北からの受験者、長崎西の入学もあった)

○合格しながら入学手続きをしなかった受験生の割合が学部全体で36%とこの12年で最も高く、国公立大学等との併願が増加したと考えるが、複数校合格した受験生が進学先を決定する場合に本学を選んでもらうような動機付けとなる魅力化を一層進める必要がある。

○社会福祉学科については、特別支援教育コースに対する高校側の評価が高かったが設置認可が12月で高3生がほぼ進路を決定した後となってしまった。特別支援教育コースや卒業後の進路保証を含めて強力に情宣活動をおこないながら、新しいコースの導入を模索していきたい。

2) 留学生募集

【留学生入学者推移】

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
1年次	34	18	25	11	46	17	48	15	37
うち私費	18	11	11	7	33	7	38	11	32
うち交換留学生	16	7	14	4	13	10	10	4	5
3年次	21	4	14	0	4	0	3	7	3
うち三年次編入	7	2	5	0	4	0	3	0	3
うち短期	14	2	9	0	0	0	0	7	0
学部生合計	55	22	39	11	50	17	51	22	40
日本語教育プログラム	40	37	26	27	51	57	16	72	114
PGMMプログラム	-	-	-	-	-	-	-	12	-
留学生合計	95	59	64	38	101	74	67	106	154

※日本語教育プログラムは、3月以降、ネパールのロックダウンのため、学費入金済の学生数を計上。

3. その他の主な教育研究活動

<2019 年度累積 GPA 学年別平均>

	年度	1 年	2 年	3 年	4 年
平均	2019 年	2.4	2.44	2.57	2.5
	2018 年	2.33	2.46	2.41	2.69
	2017 年	2.44	2.39	2.55	2.57
最高	2019 年	3.9	3.95	3.8	3.8
	2018 年	4	3.82	3.79	3.98
	2017 年	3.96	3.79	3.97	3.85
最低	2019 年	0.02	0.35	0.74	1.24
	2018 年	0.26	0.3	0.59	1.04
	2017 年	0.28	0.38	1.01	1.01

<学長賞・成績優秀賞>

学長賞・・・卒業時に、4 年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。

成績優秀賞・・・学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2016 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	3	6	4	0
後期	4	3	10	3+1(学)
2017 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	10+1(学)	4	2	0
後期	3	1	6+1(学)	9+1(学)
2018 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	7	5	3	0
後期	8	7	5	7+1(学)
2019 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	15	8	5+1(学)	0
後期	6	8+1(学)	10	3+1(学)

<障害学生の在学状況>

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	その他	計
2016 年度	0 人	2 人	2 人	4 人
2017 年度	0 人	0 人	8 人	8 人
2018 年度	0 人	0 人	10 人	10 人
2019 年度	0 人	1 人	11 人	12 人

<地域連携>

科目等履修生の受入状況

	前期	後期
2016年度	8人	9人
2017年度	3人	6人
2018年度	5人	5人
2019年度	6人	4人

(English Proficiency、Creative Writing、日本語教育論、英語音声学、アジア文化論等)

※日本語教育プログラム受講生を除く。

<高大連携関連事業報告>

鎮西学院高等学校との高大連携について、「高大連携講座」に年間を通して取り組むとともに、昨年度の「ゼミ訪問ラリー」に引き続き「テイスティング・ウエスレヤン」(2,3年生対象)を実施し、ゼミの雰囲気を感じてもらい、大学教員や学生との交流を図ることで、本学への理解を深めてもらうことができた。

大村高校が採択したスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の文理融合プログラムの開発と実施を基盤教育センターがおこない2020年度も継続する予定である。

また、九州福祉系高校教員研究セミナー、高校生福祉大賞コンテストを開催し、高校における進路指導の動向や、高校生の進路選択についての調査研究、高校生を対象とした福祉啓発事業を継続して行なった。

<部活動の主な成績>

クラブ名	大会名	結果
卓球部	熊本オープン卓球選手権大会(熊本)	シングルス: 針尾恭輔・優勝
	全九州春季学生卓球選手権大会(福岡)	団体2部優勝(メンバー 松木准平、針尾恭輔、椿雄大郎、杉内礼恩、吉田優)
		入れ替え戦: 本学3-2九州大団体1部昇格
	第13回ニツタク杯九十九島卓球選手権大会(佐世保)	シングルス: 針尾恭輔・ベスト8進出、松木准平・4回戦進出 ダブルス: 松木・針尾ペア・4回戦進出
		団体優勝(メンバー 松木准平、針尾恭輔、椿雄大郎、杉内礼恩、吉田優)
	九州地区国民体育大会(佐賀)	シングルス: 松木准平・優勝 団体: 長崎県代表メンバー 針尾恭輔

	全九州秋季学生卓球選手権大会(熊本)	団体 1部5位 (メンバー 松浦将大、松木准平、針尾恭輔、椿雄太郎、杉内礼恩、吉田優、濱田一成、野口慧太郎) シングルス: 針尾恭輔・3位入賞 ダブルス: 松木・針尾ペア・ランキング9位 シングルス: 針尾恭輔 年間ランキング4位 ダブルス: 松木・針尾ペア 年間ランキング 15位
	全日本大学卓球選手権大会(京都)	シングルス: 針尾恭輔 出場
	オール西日本大学卓球選手権大会(愛知)	シングルス: 松木准平、針尾恭輔、杉内礼恩 出場
	全九州卓球選手権大会(長崎)	シングルス: 松木准平、針尾恭輔、杉内礼恩 出場
男子バレー部	九州大学春季バレーボール男子リーグ佐賀大会	4部2位
	九州大学秋季バレーボール男子リーグ熊本大会	4部5位
フットサル部	長崎県フットサル大会	3位
	長崎県インターカレッジ	出場
水泳部	西日本年齢別選手権水泳大会	100M 平泳ぎ 9位 (山口吉生)
	長崎県選手権	200M 平泳ぎ 3位 (山口吉生)
	〃	50M 平泳ぎ 2位 (〃)
	〃	100M 平泳ぎ 3位 (〃)
	第 20 回山口県スプリント水泳競技大会	50M 平泳ぎ 3位 (山口吉生)
	〃	50M バタフライ 4位 (〃)
	〃	100M 個人メトラー 1位 (〃)
	長崎県 SC 協会合同記録会	50M 平泳ぎ 2位 (山口吉生)
	〃	100M 平泳ぎ 3位 (〃)
第 54 回長崎市水上選手権	50M 自由形 10位(山口吉生)	
〃	50M 平泳ぎ 2位 (〃)	
〃	100M 平泳ぎ 2位 (〃)	
第 25 回冬季短水路記録会	50M 平泳ぎ 8位 (山口吉生)	
〃	100M 平泳ぎ 9位 (〃)	
〃	200M 平泳ぎ 1位 (〃)	
第 39 回九州カップ水泳競技大会	50M 平泳ぎ 8位 (山口吉生)	
〃	100M 平泳ぎ 9位 (〃)	

バドミントン部	中四九学生バドミントン選手権	出場：松木詩歩
WJE ウエスレヤン ジャズアンサンブル	<p>出演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式(4/1) ・つつじまつり(4/13) ・メイフェスタ(5/18) ・ステーションフェス(6/27.1/21) ・Vファーレン長崎「九州ガスホールディングス杯」(6/22) ・原爆コンサート(7/27) ・オープンキャンパス(7/27・7/28・8/10・3/20) ・たらみ市(8/4・1/26) ・平和大行進(8/8) ・栄田町夏祭り(8/24) ・鎮西学院高校ハレルヤ祭(8/31) ・太陽の歩み(10/25) ・灯りファンタジア(10/25) ・多良見文化祭(11/3) ・ウエスレヤン大学2ドル祭(11/9) ・鈴田峠スイーツ祭り(11/6) ・多良見音楽祭(11/17) ・灯りファンタジア(11/23) ・ウエスレヤン大学点灯式(11/29) ・諫早市民クリスマスコンサート(12/7) ・ウエスレヤン大学クリスマス礼拝(12/11) ・アンサンブルコンテスト(12/15) ・諫早北ロータリークラブ新春演奏(1/9) ・ヨジマル出演(1/14) ・九州アンサンブルコンテスト(2/9:久留米) 	<p>金賞・長崎県代表</p> <p>銀賞</p>
コーラス隊	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(4/1) ・波名城先生結婚式(5/25) ・ピースアワー(5/29) ・原爆継承コンサート(7/21) ・ピースアワー(7/24) ・2ドル祭(11/9) ・おおせとふれあい集い(11/24) ・クリスマスツリー点灯式(11/29) ・クリスマス礼拝・祝会(12/11) 	
ぶっく倶楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル予選会①～⑤ ・全国ビブリオバトル首都決戦(12/22:東京) ・ウェルカムビブリオバトル(4/3) ・ビブリオバトル in 島原市立図書館(4/14) ・カジュアルビブリオバトル(4/15) ・ビブリオバトル in 諫早特別支援学校(4/24) 	出場：田中大空

<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル in 長崎ココウオーク(4/28) ・読書のための体力づくり(5/12) ・ビブリオバトルほめちぎり選手権(6/11) ・諫早としょかんフェスティバル ・読みがたり・ミニビブリオバトル(9/24) ・テーブルマナー講座(9/29) ・ビブリオバトル in 長崎ココウオーク(10/22) ・2ドル祭出店(11/9) ・ビブリオバトル in 諫早特別支援学校(12/2) ・カジュアルビブリオバトル新人戦(12/23) ・ビブリオバトル中学生大会(12/26) ・新春ビブリオバトル(教職員ビブリオ)(1/6) ・卒業ビブリオバトル(2/7) 	
---	--

<学術研究>

個人研究費の配分状況

2019年度の個人研究費については、財務逼迫の折、昨年同様150千円の配分となった。

地域総合研究所共同研究費の配分状況

研究代表者	職位	共同研究課題一覧
登り山和希	准教授	アジア地域協定大学における新規教育プログラムの開発
白武義治	教授	商業高校との高大接続教育について-商業クラブと商業科正課カリキュラムと大学教育の接点と人材育成に関する研究-
礪本光広	教授	行列簿記をもちいた可逆性をもつ財務諸表の構築
波名城翔	講師	社会資源の乏しい離島における精神障害者の地域生活支援ニーズに関する研究-鹿児島県沖永良部島の調査から-

科学研究費助成事業の獲得状況

「2019年度科学研究費助成事業」の新規採択は、科学研究費助成金1件と学術研究助成基金助成金1件。また「2020年度科学研究費助成事業」への申請件数は3件、採択は0件であった。

以上